

問い合わせ先  
国土交通省港湾局海岸防災課災害対策室  
課長補佐 高橋 03-5253-8689 (直通)  
海上保安庁東北地方太平洋沖地震災害対策本部  
課長補佐 福本、上村 03-3591-6361 (5902)

国土交通省港湾局  
海上保安庁  
平成23年3月19日

### 八戸港の一部復旧について

八戸港では、東北地方太平洋沖地震災害対応として、海上輸送の早期実現を図るため、別添のとおり、同港の一部が復旧されましたので、お知らせします。

#### 記

1 復旧日時

平成23年3月19日（土）午後3時

2 復旧場所

別添のとおり

3 入港可能船舶

別添のとおり

問い合わせ先

八戸港管理所

総括主幹 釜谷哲二 0178-27-5151

(三八地域整備部内)

八戸港湾・空港整備事務所

工務課長 千葉忠樹 0178-22-9395

八戸海上保安部

交通課長 平野恵三 0178-32-4691

八戸港管理所

八戸港湾・空港整備事務所

八戸海上保安部

平成23年3月19日

八戸港八太郎地区の一部復旧について

東北地方太平洋沖地震災害対応として、緊急物資等の海上輸送の早期実現を図るため、八戸港において、港湾管理者である青森県、国土交通省八戸港湾・空港整備事務所（港湾業務艇「ほくと」）及び、海上保安庁（測量船「昭洋」（総トン数約3100トン）、巡視艇「むつぎく」）、並びに、地元八戸市からの要請を受けた海上自衛隊（掃海艇）等、関係機関の協力のもと水路測量調査を実施し、下記のとおり八戸港八太郎地区の一部を復旧したのでお知らせします。

なお、他の海域についても鋭意調査を継続中であり、安全性が確保され次第お知らせ致します。

記

1 復旧日時

平成23年3月19日（土） 午後3時00分

2 復旧場所

別図「復旧水路・岸壁一覧図」参照

3 入港可能船舶

入港船舶の喫水が、次の条件を満たす場合入港可能とします。

- ・八太郎航路においては、安全確認水深10mまでの船舶
- ・喫水が、各使用可能岸壁ごとに定めた安全確認水深を超えない船舶

なお、通航航路は八太郎航路のみとし（別図赤色点線で囲まれた海域）、原則として日中の航行のみとします。また、港内には、漂流物、沈船等の障害物が多数存在しているので十分な注意が必要です。

※安全確認水深：使用可能岸壁の前面において簡易測量した値の内、最小の値

# 「復旧水路・岸壁一覧図」

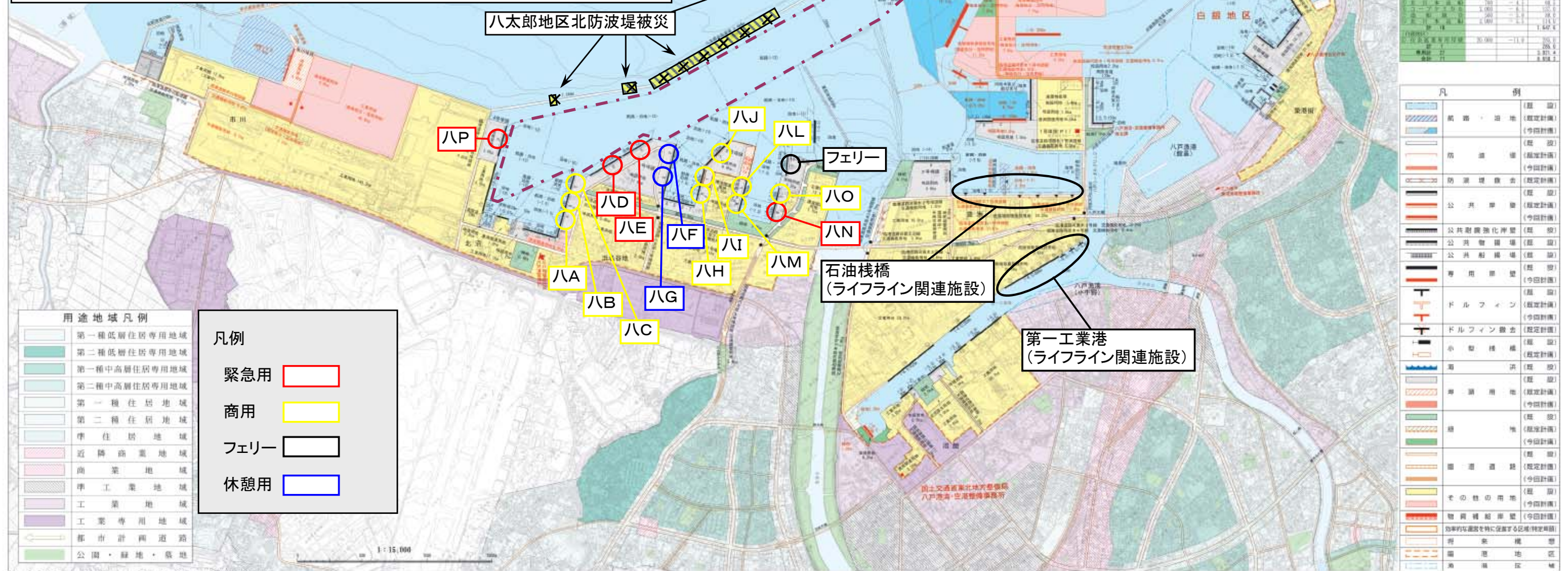
## 岸壁利用調整会議 結果一覧表

平成23年3月19日

地区名	埠頭	岸壁名	計画水深 (m)	使用形態及び安全確認水深
八太郎	4	P岸壁	-12.0m	緊急輸送船専用(-10m)
		A岸壁	-7.5m	商用(海図どおり)
	1	B岸壁	-7.5m	商用(海図どおり)
		C岸壁	-10.0m	商用(海図どおり)
		D岸壁	-13.0m	緊急輸送船用(-10.0m)
		E岸壁	-13.0m	緊急輸送船用(-10.0m)
		F岸壁	-10.0m	休憩用 暫定(-7.4m) ※支障物撤去後(-8.8m)
		G岸壁	-10.0m	休憩用(-8.8m)
	2	H岸壁	-7.5m	商用(-7.0m)
		I岸壁	-7.5m	商用(-7.0m)
		J岸壁	-13.0m	コンテナ片付け後 商用(-10m)
		L岸壁	-7.5m	商用(-6.0m)
	3	M岸壁	-7.5m	商用(-6.0m)
N岸壁		-7.5m	緊急物資専用 暫定(-5.5m) ※支障物撤去後(-6.5m)	
O岸壁		-7.5m	商用(-5.5m)	
河原木		石油栈橋 第一工業港		ライフライン関連施設に係る施設供用再開を最優先に実施
白銀				災害復旧関連船舶用

その他の施設への航路泊地支障物撤去は、できる限り早急を実施する。

## 八戸港



国土交通省東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所(平成22年4月)